



ポートライナー

新規

こども運賃割引き制度導入へ

はぎわらの9月議会一般質問で副市長が答弁

ポートアイランドの住民にとって、ポートライナーの運賃が高く、生活するうえで大きな負担となっているとのお声を数多くお聞きしてきました。

10月10日に開催された本会議の一般質問で、市営地下鉄と市バスに導入されているエコファミリー制度(同行する大人1人につき小学生以下2人まで無料)をポートライナーと六甲ライナーにも導入することを求めました。

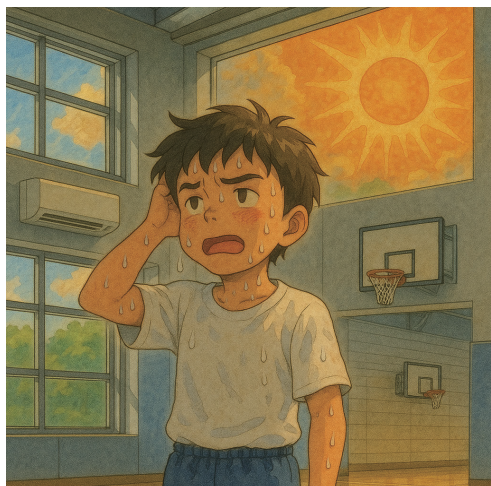
神戸市の回答は、ポートライナーは無人駅が多く、駅員を介さずに制度を運用するにはシステムの改修費用が嵩み、直ちには導入できないとの回答でした。

一方で、神戸高速鉄道で子育て支援として実施されている小児用ICカードで乗車すると、運賃の50%相当の割引・ポイント還元がされる同様の施策の試行運用を検討するとの答弁があり、大幅な運賃割引が期待できます。また、この割引制度は大人の同行に関係なくこどもだけでの利用も対象となることから、塾や習い事等の適応範囲が広いことが魅力的です。これからも市民の声を神戸市に届け、カタチにしていきたいと思います。



本会議場で市民の切実な声を伝える

小中学校体育館の全館空調に道筋を付けました



生成AIによる現状のイメージ

これまで整備を進めてきた小中学校の体育館の空調は、急激な酷暑化で必ずしも十分とは言えず、児童・生徒の健やかな学習環境の確立と、災害時の避難所環境の改善のための取り組みとして必要性を訴えました。その中で、昨年度の国の補正予算で新たに創設された「空調設備整備臨時特例交付金」の活用を求めました。

福本教育長からは、整備費用だけでなく技術的な課題もあるが、技術的な課題についても、国の交付金を活用した他都市の整備状況を参考にしながら、スピード感を持って具体的に検討していくとの答弁があり、今後体育館の全館空調に向けた取り組みが進んでいきます。

「地域の防災力を高めたい」— その思いが市を動かしました

神戸市では、今年から防災士育成事業補助金が創設されました。しかし、補助対象の養成講座は市内での開催がないことから、神戸市が養成講座を開設することを提案しました。併せて、養成機関が定期的にスキルアップ講座を開催したり、各地の特色ある防災訓練や取組を集約し情報発信したりして、防災士同士のネットワークを構築し、地域に点在する防災士を核に神戸市全体の防災意識・防災力、そして共助の体制の底上げを図る取組を提案しました。

神戸市の回答は、防災士資格取得の意欲のある方が受講しやすい環境を整備していくために、神戸市での防災士養成講座の開催も含め検討すると前向きな答弁でした。また、提案の内容も踏まえ、今後、地域で防災活動に携わっていただく防災士の方々と市で連携・協議しながら、活動に係る情報交換や報告会の場を設けるなど、地域防災力の向上につなげていくとの回答がありました。



本会議場で市長に対して質問をするはぎわら

市民の声をカタチにしました

臨港線跡の遊歩道に上がるスロープの路面が、補修後も劣化が進み、ガタガタで雑草も繁茂し、高齢者やベビーカーで通行できる状態でないとのお声を頂きました。

担当部局に対策を依頼したところ、スロープ全体の舗装が老朽化していたため、100m程あるスロープ全体の再舗装をして頂きました。また、遊歩道の舗装も一部痛んでいることから、順次対策をして頂くことになっています。



公明党市会議員団控室

〒650-8570
神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL: 078-322-5842

